

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 4 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 3 月 6 日(2025.3.6)

【国際公開番号】 WO2024/201851
【出願番号】 特願 2023-555351(P2023-555351)
【国際特許分類】

E 0 4 H 9/14(2006.01)

E 0 6 B 9/00(2006.01)

E 0 6 B 5/00(2006.01)

【F I】

E 0 4 H 9/14 Z

E 0 6 B 9/00 Z

E 0 6 B 5/00 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 9 月 8 日(2023.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

保護対象である土地又は建物の周囲に連続して設置される防水シート固定部と、
前記防水シート固定部に下端が固定され、前記土地又は建物の周囲を連続して覆う防水シートと、

前記防水シート固定部の近傍に設置され、前記防水シートを支持する複数の支柱とを備え、

前記防水シートは、前記防水シート固定部に固定可能であると共に、引き上げられて、
前記複数の支柱の上部に固定可能であり、

前記防水シートが引き上げられて前記上記複数の支柱の上部に固定された状態で、平面視で前記土地又は建物の周囲の角部にある支柱の部分で折れ曲がり、前記防水シートによって連続的に防水壁が形成され、

前記防水シート固定部の近傍に収納してある前記複数の支柱を使用時に引き出して起立させるように構成されている

ことを特徴とする水防システム。

【請求項 2】

前記防水シート固定部は、連続して掘られたシート収納用溝部を含み、

前記防水シートは、前記シート収納用溝部に折り畳んで又は丸めて収納され、引き上げると連続した防水壁を構成するように構成されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の水防システム。

【請求項 3】

前記シート収納用溝部には、排水のための排水孔が形成されており、

前記防水シートの下端が、前記シート収納用溝部の前記保護対象である土地又は建物と反対側に固定されている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の水防システム。

【請求項 4】

前記防水シートは、複数の支柱の上部に跨がるように支持された梁部材を介して吊り下げられている

10

20

30

40

50

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

【請求項 5】

前記防水シートに梁部材を一体的に設け、

前記梁部材を複数の支柱の上部に跨がるように支持させることで、前記防水シートによって連続的に防水壁が形成される

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

【請求項 6】

前記複数の支柱には、係止部が設けられており、

前記防水シートに設けた被係止部が、前記係止部に掛けられるように構成されている

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

10

【請求項 7】

前記防水シートの上部には、パイプ部材又は袋とじ部が設けられ、

前記パイプ部材又は袋とじ部にワイヤが通され、

前記ワイヤを介して前記防水シートが前記支柱に吊り下げられている

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

【請求項 8】

前記複数の支柱は、前記防水シート固定部近傍に収納可能又は脱着可能に設けられ、上部に前記防水シートが吊り下げられるように構成されている

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

20

【請求項 9】

保護対象である土地又は建物の周囲に連続して防水シート固定部を設け、

前記防水シート固定部に折り畳んで又は丸めて、連続して防水シートを配置し、

使用時に、前記防水シート固定部の近傍に収納してある前記複数の支柱を使用時に引き出して起立させ、前記防水シートを引き上げて前記土地又は建物の周囲の複数の支柱に支持することにより、前記防水シートにより前記土地又は建物の周囲を平面視で前記土地又は建物の周囲の角部にある支柱の部分で折れ曲がるようにして、連続して覆う防水壁を形成する

ことを特徴とする水防方法。

【請求項 10】

前記防水シート固定部として連続してシート収納用溝部を掘り、

前記シート収納用溝部に折り畳んで又は丸めて、連続して前記防水シートを収納しておく

30

ことを特徴とする請求項 9 に記載の水防方法。

【請求項 11】

前記複数の支柱の上部に跨がるように梁部材を支持し、

前記梁部材を介して前記防水シートを吊り下げる

ことを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の水防方法。

【請求項 12】

前記防水シートに梁部材を一体的に設け、

前記梁部材を複数の支柱の上部に跨がるように支持させることで、前記防水シートによって連続的に防水壁を形成する

40

ことを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の水防方法。

【請求項 13】

前記防水シートの上部に、パイプ部材又は袋とじ部を設け、

前記パイプ部材又は袋とじ部にワイヤを通し、

前記ワイヤを介して前記防水シートを前記支柱に吊り下げる

ことを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の水防方法。

【請求項 14】

前記防水シートの下端を、前記シート収納用溝部の前記保護対象である土地又は建物と反対側に固定し、

50

前記防水シートを、前記防水シートを引き上げて前記土地又は建物の周囲の複数の支柱に支持した状態で、前記シート収納用溝部に形成した排水孔から排水させることを特徴とする請求項 10 に記載の水防方法。

【請求項 15】

前記複数の支柱は、前記防水シート固定部の内側に設けた支柱収納穴に収納可能に設けられ、使用時に前記支柱収納穴から引き出されるように構成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の水防システム。

10

20

30

40

50